

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和2年4月2日(2020.4.2)

【公開番号】特開2018-146448(P2018-146448A)

【公開日】平成30年9月20日(2018.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2018-036

【出願番号】特願2017-43108(P2017-43108)

【国際特許分類】

G 01 M 99/00 (2011.01)

G 05 B 23/02 (2006.01)

【F I】

G 01 M 99/00 Z

G 05 B 23/02 G

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月19日(2020.2.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

製造業において生産効率の向上は最も重要な課題である。そして、産業機械の故障による生産ラインの停止は、生産効率の著しい低下の原因となることから、日常的な産業機械の予防保全、特に状態基準保全が最も重要となり、その実現のために産業機械の状態を診断する状態診断装置が考案されている。たとえば特許文献1に記載の状態診断装置では、回帰分析を用いた状態基準保全を行うとしており、診断対象である装置において正常時に取得した複数の状態データから回帰分析を用いてデータの分類及び診断モデルの作成を行い、作成した診断モデルを用いて装置の状態を乖離度で算出し、閾値と比較して異常の検知等の診断を行うようになっている。また、特許文献2に記載の状態診断装置では、ニューラルネットワークを用いた状態基準保全を行うとしており、多数の正常データとごく少數の異常データとから異常種ごとにニューラルネットモデル(診断モデル)を作成し、診断対象となる装置から得られる時系列データについて、異常種ごとに設定されている前処理を行い、そのデータを各診断モデルで個別に判定することで、異常の検知等の診断を行うようになっている。